

東南アジアの日本文学翻訳者・編集者 9 名を招へい 日本の作家や出版関係者との交流事業を実施 ～今後の図書や文学を通じた交流の基盤づくりを目指して～

国際交流基金（JF）は、インドネシア、タイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマーで活躍する翻訳者・編集者 9 名を招へいし、専門家によるレクチャー、日本を代表する作家の方々との交流、出版社や書店への訪問等を通じ、現代日本文学や文芸翻訳、日本の出版制度や最新図書事情について理解を深める機会を提供します。

翻訳者が参加するワークショップや座談会も開催します。それぞれの国における次世代の翻訳者育成に向けた取り組みや、これからの日本と東南アジアの文学交流について、互いに意見を交わす予定です。

今回の招へい事業を通じて、日本の文芸作品の翻訳・出版に関する専門的な知見を深めるとともに、日本の出版関係者、専門家や、翻訳者・編集者の間のネットワークを築き、今後の東南アジア地域における日本の図書や文学を通じた交流の基盤ができることを目指します。

本事業は、JF が推進する「次世代共創パートナーシップ—文化の WA2.0—」の一環として行うものです。

記

事業名称： 東南アジア日本文学翻訳者・編集者招へい事業

開催日程： 翻訳者 2025 年 11 月 17 日（月）～26 日（水）

編集者 2025 年 11 月 17 日（月）～23 日（日）

主 催： 国際交流基金（JF）

主なプログラム内容：

■レクチャー

「英語圏における日本文学の翻訳事情について」 講師：由尾瞳（早稲田大学教授）11 月 18 日（火）

「スペインにおける日本文学の翻訳事情について」 講師：ピタルク・パウ（早稲田大学准教授）11 月 18 日（火）

「日本の出版市場の概況と出版界の直面する課題について」 講師：樋口清一（日本書籍出版協会専務理事）11 月 19 日（水）

「日本の最新図書について（仮）」 講師：倉本さおり（書評家、法政大学専任講師）11 月 20 日（木）

■作家交流（五十音順）

伊坂幸太郎 11 月 23 日（日）

松田青子 11 月 25 日（火）

柚木麻子 11 月 20 日（木）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

■ 出版社・書店訪問

講談社 11月18日（火）
エトセトラブックス 11月21日（金）
ポプラ社 11月21日（金） 他

■ ワークショップ・座談会（※翻訳者のみ参加）

翻訳ワークショップについて：米田雅早（日英翻訳家）、由尾瞳（早稲田大学教授） 11月18日（火）

翻訳者座談会「東南アジアで翻訳を生きる：日本文学の翻訳者たちと語る生活・読者・未来」
モデレーター：福富渉（タイ文学研究者、タイ語翻訳家） 11月22日（土）

■ 関係者とのネットワーキング交流会 11月20日（木）

参加者とこれまでに手がけた主な書籍：

翻訳者

Andry Setiawan（インドネシア）

- ・秋吉理香子『暗黒少女』（Penerbit Haru, 2014）
- ・湊かなえ『告白』（Penerbit Haru, 2019）
- ・柏葉幸子『帰命寺横丁の夏』（Penerbit Baca, 2024）

Asri Pratiwi Wulandari（インドネシア）

- ・川上未映子『乳と卵』（Moooi Pustaka, 2021）
- ・松田青子『おばちゃんたちのいるところ』（Penerbit Haru, 2022）
- ・田村俊子『木乃伊の口紅』（Penerbit Mai, 2022）

Geywalin Likhitvidhayavuth（タイ）

- ・松田青子『おばちゃんたちのいるところ』（Eka Publishing, 2022）
- ・原田マハ『旅屋おかえり』（Piccolo Publishing, 2023）
- ・八木 詠美『空芯手帳』（EKA Publishing, 2025）

Luong Viet Dung（ベトナム）

- ・川端康成『みづうみ』（Literature Publishing House, 2022）
- ・夏目漱石『明暗』（The Vietnam Writers' Association Publishing House, 2024）
- ・村上春樹『街とその不確かな壁』（The Vietnam Writers' Association Publishing House, 2025）

Mohamad Basil Hazman Bin Baharom（マレーシア）

- ・川村元気『世界から猫が消えたなら』（Biblio Press, 2023）
- ・八木沢里志『森崎書店の日々』（Biblio Press, 2024）
- ・川端康成『五十銭銀貨』（Jurnal Svara, 2021）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

編集者

Supalak Auntonna (タイ)

- ・本田有明『願いがかなうふしぎな日記』(SandClock Books, 2024)
- ・ヨシタケシンスケ・又吉直樹『その本は』(SandClock Books, 2025)
- ・森沢明夫『夏美のホタル』(Sandpaper Books, 2025)

Khuc Thi Hoa Phuong (ベトナム)

- ・恩田陸『蜜蜂と遠雷』(Vietnam Women's Publishing House, 2022)
- ・多和田葉子『献灯使』(Vietnam Women's Publishing House, 2023)
- ・多和田葉子『犬婿入り』(Vietnam Women's Publishing House, 2024)

Zalila Isa (マレーシア)

- ・夏目漱石『吾輩は猫である』(Biblio Press, 2025)
- ・有川浩『旅猫リポート』(Biblio Press, 2024)
- ・太宰治『人間失格』(Biblio Press, 2024)

Maung Day (ミャンマー)

- ・Sagawa Chika, Sawako Nakayasu, "Two Japanese poets of two eras (Selected Poems)" (The Eras Publication, 2022) ※翻訳作品
- ・Maung Day, "Death in Summer: Poems" (Chin Music Press, 2023)
- ・吉本ばなな『キッチン』(The Eras Publication, 2025) ※翻訳作品

本事業へのご取材を希望の場合は、事前にお問い合わせください。

詳しくは、国際交流基金 ブランド推進部 広報課 press@jpf.go.jp まで

以上

「次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー」について

国際交流基金（JF）は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。

JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー」を展開しています。

日本語パートナーズ事業と双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/>では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひご覧ください。